

「山月記」(課題) 三年 組 番氏名

☆授業で行った内容を参考に、プリントで復習しましょう(ノートに左記課題を取り組むこと)

(第一段)

- ① この小説の文体について特色を挙げよ。
- ② 第一段で、李徴はどのような性格の人間として描かれているか。
- ③ P 2 0 9 / 1 「節を屈して」とは、どういうことか。

(第二段)

- ① P 2 1 0 / 6 「哀惨」はどのような人物で李徴とはどのような間柄にあったか。
- ② P 2 1 1 / 5 「しばらく返事がなかった」のはなぜか。
- ③ P 2 1 1 / 1 3 「李徴の声が答えて言う」に続く李徴の言葉はどの部分か。また、彼はどのような心境にあるのか

(第三段)

- ① P 2 1 3 / 7 ~ 1 1 「そうして懼れた・・・自分はずぐに死を思った」に語られている李徴の心情を説明した文の、
() () 内の語句で適当なものを選べ。
 - ・ () 自らの身に生じたありうべからざることへの(ア畏怖 イ不安 ウ悲哀)が吐露され、次いで我々生き物を
 - ・ () 支配するさだめの不(ア確実 イ条理 ウ自然)さが、反復によって強調され、さらにその運命に支配され
 - ・ () た人生に(ア狂気 イ納得 ウ絶望)していく。
- ② P 2 1 4 / 7 「これは恐ろしいことだ」とあるが、それはなぜか。
- ③ P 2 1 4 / 8 ~ 9 「ちようど古い宮殿の礎が…土砂に埋没するように」の表現技巧を何というか。
また1「古い宮殿の礎」とは何か。また、2「土砂とは何か。」

④ P 2 1 4 / 1 4 ~ 1 5 「俺の中の人間の心が・・・しあわせになれるだろう」について

- 1 「しあわせ」になれるのはなぜか。
- 2 「しあわせ」に傍点が打ってあるのはなぜか。
- ⑤ P 2 1 5 / 1 「そのこと」とは、何か。
- ⑥ P 2 1 5 / 2 「恐ろしく…切なく」思っているのはなぜか。

(第四段)

- ① P 2 1 5 / 8 「業」の読みと、また具体的に何を指すか。
- ② P 2 1 6 / 1 2 「哀惨」は…李徴の自嘲癖を思い出しながら「から李徴の性格について分かることを述べよ。
- ③ P 2 1 6 / 1 3 「お笑いぐさ」とあるが、何が「お笑いぐさ」なのか。

(第五段)

- ① P 2 1 8 / 1 「それ」とは具体的に何か。
- ② P 2 1 8 / 7 「わが臆病な自尊心と尊大な羞恥心」は李徴にどのような行動をとらせることになったか。
- ③ P 2 1 8 / 7 「珠」・2 2 2 / 9 「瓦」とは、それぞれ何のたとえか。
- ④ P 2 1 8 / 1 1 「人間は誰でも猛獣使いであり」とあるが、これは人間をどういう存在であると言っているのか。
適当なのはどちらか選択しなさい。

ア 人間は誰しも、自分の内なる自分の好ましくない性情を制御しながら生きるべき存在である。
イ 人間は誰しも、自分の内なる善と悪の折り合いをつけて生きている存在である。

- ⑤ P 2 1 9 / 5 「それ」とは、何を指すか。
- ⑥ P 2 1 9 / 1 1 「胸を灼く悲しみ」とは何についての悲しみか。
- ⑦ P 2 2 0 / 1 「俺の毛皮のぬれたのは夜露のためばかりではない」とあるが、他の理由としては何があるか。

(第六段)

- ① P 2 2 0 / 8 ~ 9 「俺はすでに死んだと…告げてもらえないだろうか」と依頼するのはなぜか。
- ② P 2 2 0 / 1 5 「このこと」とは何を指すか。

☆「山月記」を読んで感想をまとめましょう

☆卒業考査の範囲は「詩「春雷」と「山月記」となります。これまでのプリントをしっかりと復習してください。